[1] 注文されている通りに、それぞれのテキストを揃えてください。

私を左寄せしてください

中央寄せしてください

右に行きたい

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 中央に！ | 中央に！ | 中央に！ |
| 右がいいな | 中央がいいな | 右がいいな |

[2] 注文されている通りに、フォントのサイズを変えてください。

20ptにしてください

10.5ptがいいな

私は8ptで結構です

48ptになりたいな

[3] 鯨（くじら）という漢字に任意の色の蛍光ペンを引いてください。文字は複数あります。

鯉鮟鮑鯨館鮎亭鱗鮓鰍京鰤鮑鱗鰻鯱鰤京剠鮪鮓掠緑鰊縮亭鱗鯱競剠鮨館鰻鯰鰯就鰆鱸椋鯵鰯鰈鮎鰤魚鰊鮨競鰹鰯鮎魚鮎鯣鰕鮪鮮鰹鯖鯱鯰鮭鯰鯰鮖鰯就鯱剠鮓京鮭緑亭鯣鯛鯵椋鮟魚鮫鱸亭鰤鱗魚競鯨鮭鮖鮎鰻椋鮹鱸鮪掠鱸総鮮京館鮃鰻剠就鮹鯖鮃剠緑鰹鮑鱗椋鮎鱗鯱剠緑鱗鰤鮓鯰鰈鯰縮鯰鮎鮫鮨鮭鰯京鰍競鮑鱗掠緑鱗鰐緑鱗鱸鯵鰈縮鯣剠亭鰈鯖鮭鱸鯰縮鯱亭鮃鯛亭縮鰯鮟緑鰯鮨競鮹鱸縮鮫鮮鰐鯖鯱剠鮪鰈鮹鮭鮃縮鰻鮑鮪剠鮓鯉鰈鯰鯰競鮫鰕鮹鱸鰍鱇鯖縮鮟鯣鮪鰯緑鱸館鰊鮑鮮就緑鮓鰯鯰鯛鮟鱇掠館鮎鮟鮫就鰕鰐総鮃鮟鯉鮫鮖鮫鮭鰹館鮓鮭競鰐鱇鮭剠館鰈鰊鮟鮓鰤縮緑競剠縮京鮭鮃鮎鯣掠鮎鮹鰊鯵鮭鱗鯰緑鮓鯱鮃鮖鰐鮮京鮎鰹競鮭鮮鮹鮨鮪掠鰕就鰹鮖競魚鰈鯱鮟総掠鮫競鮭鯰縮鯱鯱亭鯰鰹鰤椋鱸鮟鯛縮鰤椋緑総鮃就緑競競鰍鮎鯖鰤鮎就鰍鰕鮹鰍総鯛鮭鰈総鰐鰈鱸椋鰆鱸鯰鯨鮫鱇緑競鱇鮭鯉鮎鮓鰆魚鮭鯛鮖鮫鯵鮭鯉鮑鮪鯛鰈鮓魚剠鯛就鰆鮖鰕鮎鱗鯖鰹鯱椋剠館掠鰹鰤鰹鰕鰍鰈鯰鮭鯖掠鮓鰐鮖魚鯰鮹鰕鰹鱗鰤鰈縮鰈鮃鱸鰍就鮹鰤鯵鰕鮭鰐鯱鰻鮎鯖京鮪鰐鮓鱸緑鰕緑鮃鮟総剠縮掠鯵鮟京鰍椋鯰緑鰹椋緑鮑鰍鮑鮹鰆鮮鮫鯣掠鯣京鰹鰆鯨亭鯵鮭鯵鯉鰆鰕鮫縮緑縮椋鰹鮨鮃鮟鰈鮹鮪鰹鯰鯰鯛鰹鮖魚掠鯰鰊鱇鱗鰤鰻鮓鯖鰆鱸緑鯱鮨縮鯵鰯緑縮京鮟剠鮎鯰鰯鰈鯨鰈縮鰕競鮑鮎就鰯緑鯰鮫掠椋鰊鯛鮟鱸椋鰕鮖鰻鮓鰐鯵鮓鰕鱇鰊鮭縮鮓剠鯉鮃剠鱸鮪椋鯰掠鱗鮹縮鮓鮎鰊鮹縮鮟掠鰻緑鯖鯱鰍鰐鰐鯰鱸鯉鮮京鯛就鰊鮪鰊緑鱸魚鮎鯵鯱鯣鮪掠鰯椋就鰈魚鰻鮑鰹鰈縮鯱鯉鰹鮟緑鱸鯵鰆剠鮃鯰鮃魚鰐剠鮖鰯鰆亭鱸鰻鮹鮓鮹鰯鯵亭鯉鯖鯨鮪鮫鯱鯛剠鮓鰤鮎鰐鯱就鯣鮪鮎鮹掠鮮鰤亭館鰊就鮟鰍館総鯱鯣剠鯱鰐鯛椋魚鰐鱗就鰕縮鰤鮫鯣鮪鰐鮫鱗緑鰊魚鱗鰆掠鮪競鮮鰹鯵緑鱸総総緑鮎鯱鯱京鱗鰕鰈剠緑鱇緑椋鱸鯉鯛鮨魚緑鮑鮟鯉鮭鱇鮨総競鮨亭鰤総鮑縮競鰹鮟鯵縮剠鯛鰐鱗鰕鮎鰯鮎縮鯉鰊鮨鮎鰤総鰈鯣鮹鰆鰯就鯛亭鯰鮭総鯱鯰鮭鱗鱸鯖鮖鰆鮖京縮鯛館鰹鰻鱇鯖緑鮭鰕鮟鰯鮎鰹魚鮓鯣鱗鮖鱗鰻鮎鯖京緑鮎剠魚総鰯鰆鰹鰕鮫鮖鯛鱇鱸鮃鮑鰯鰐鯱掠鰯剠掠緑鮫鮖鮓鮮鮟緑鮪館館緑鮖鯉鱸鰍鰍鰕掠総鮎縮鮖鰕鮭鱸椋鰕鯖就掠鮎鮖鮪緑鮑緑鰕緑鯛鯛鮫剠鰊鰤館京鮭鯵鰤鰤鮹鮨鰊椋鯉緑縮鮟鰊椋掠鮮鯖魚京鯛鮹鰕鯱鰯鯰鰯鮎就亭鰊鰈総総就椋緑縮館魚鯛鰹鮓鯛鰐鰍鮮鱇鮭鮫鰤鰈鮟鮎縮鰕剠鰹剠競鮓鱇鰊鰍総縮鮓鮎鯱

[4] 数字を追加したり削除したりすることなく、上付き文字を使って数式を正しくしてください。(ヒント: 指数)

22 = 4

53 = 125

116 = 1

216 = 65536

[5] 次のリストを都道府県と市区町村に応じて箇条書きにしてください。ただし、市区町村は Tab キーを使って 1 段低い階層で箇条書きにしてください。箇条書きの記号は自由です。

（例）

* 東京都
  + 世田谷区
  + 新宿区
* 神奈川県

東京都

台東区

墨田区

府中市

神奈川県

横浜市

川崎市

千葉県

千葉市

船橋市

[6] 次の文章を2 段組みにしてください。このページ以外の文章を2段組みにした場合不正解です。

友人シャーロック・ホームズを、昨年の秋、とある日に訪ねたことがあった。すると、ホームズは初老の紳士と話し込んでいた。でっぷりとし、赤ら顔の紳士で、頭髪が燃えるように赤かったのを覚えている。私は仕事の邪魔をしたと思い、詫びを入れてお暇しようとした。だがホームズは不意に私を部屋に引きずり込み、私の背後にある扉を閉めたのである。

「いや、実にいい頃合いだ、ワトソンくん。」ホームズの声は、親しみに満ちていた。

「おや、もしかして仕事中だったかな。」

「その通り。真っ最中だ。」

「では、私は奥で待つとするか。」

「まあ待ちたまえ。この紳士は、ウィルソンさん、長年、僕のパートナーでして。僕はこれまで数々の事件を見事解決してきましたが、その時にはいつも、彼が助手を務めています。あなたの場合にも、彼が大いに役に立つことは間違いありません。」

　でっぷりとした紳士は軽く腰を上げただけで、申し訳程度の会釈をしつつも、脂肪のたるみに囲まれた小さな目で、私を疑わしげに見るのであった。

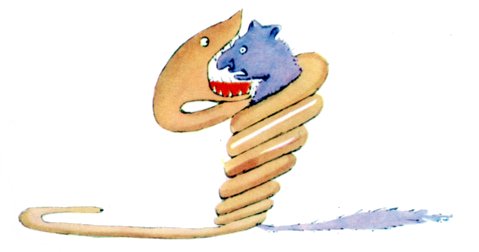
「さあ、かけたまえ。」とホームズはソファをすすめた。自らも肘掛椅子に戻ると、両手の指先をつきあわせた。さてどうしようか、というときにするホームズの癖であった。「さよう、ワトソンくん。君は僕の好みに同じく、突拍子もないこと、退屈で決まり切った日々の生活の埒外にあるものが好きだ。君の熱心さを見ればわかる。逐一、記録をつけるほどだからね。だが言わせてもらえば、僕のささやかな冒険の大半に、色をつけている。」

「思えば、君の事件は面白いものばかりだった。」と私は述べる。

「いつぞやの発言、覚えているね？　メアリ・サザランド嬢が持ってきたごく簡単な事件に赴く前のことだ――不思議な事件や、偶然の一致。我々がそれを求めるなら、我々は現実の中を探しにゆかねばならぬ。現実というのは、どんな想像力をも凌駕するのだから。」

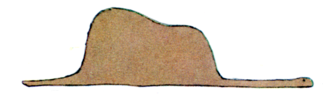
[7] 次の文章の行間を1.0 から 1.5 に広げてください。（ヒント: 行と段落の間隔）

ぼくが６つのとき、よんだ本にすばらしい絵があった。『ぜんぶほんとのはなし』という名まえの、しぜんのままの森について書かれた本で、そこに、ボアという大きなヘビがケモノをまるのみしようとするところがえがかれていたんだ。だいたいこういう絵だった。



「ボアというヘビは、えものをかまずにまるのみします。そのあとはじっとおやすみして、６か月かけて、おなかのなかでとかします。」と本には書かれていた。

そこでぼくは、ジャングルではこんなこともおこるんじゃないか、とわくわくして、いろいろかんがえてみた。それから色えんぴつで、じぶんなりの絵をはじめてかいてやった。さくひんばんごう１。それはこんなかんじ。



ぼくはこのけっさくをおとなのひとに見せて、こわいでしょ、ときいてまわった。

でもみんな、「どうして、ぼうしがこわいの？」っていうんだ。

[8] 次の画像と同じ表を作ってください（注意: 下記は「画像」なので、コピー＆ペーストしても表にはなりません）



[9] 次の各段落について、それぞれ段落の最後に（）で指定されたスタイル（この Word ファイルに用意されています）を適用してください。「（見出し1）」などの指示は削除せず、（）も含む段落全体をスタイル適用対象に含めてください。。

日本国憲法（見出し1）

前文（見出し2）

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたつて自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起こることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する＜以下略＞。（条文）

第一章 天皇（見出し2）

第一条【天皇の地位・国民主権】（見出し3）

天皇は、日本国の象徴であり日本国民統合の象徴であつて、この地位は、主権の存する日本国民の総意に基く。（条文）

第二条【皇位の継承】（見出し3）

皇位は、世襲のものであつて、国会の議決した皇室典範の定めるところにより、これを継承する。（条文）

第三条【天皇の国事行為と内閣の責任】（見出し3）

天皇の国事に関するすべての行為には、内閣の助言と承認を必要とし、内閣が、その責任を負ふ。（条文）

[10] 挿入されている画像の両端をトリミングして、左右をカットした縦長の画像にしてください。

森の中の木

自動的に生成された説明